

自然体験活動

安全対策クイックマニュアル



自然体験活動を安全かつ有意義なものにするために、団体指導者の方の理解と連携が必要です。

- 内容と目的の共通理解
- 研修生への事前指導の徹底（目的、ねらい、安全）
- 研修生の人数、健康状態の把握
- 団体指導者の役割分担

自然体験活動を安全に実施するために

自然体験活動が安全かつ効果的に実施されますよう、下記の活動については、団体指導者の方は事前に活動エリアの下見をお願いします。また、その他含む全ての活動において、事前準備及び研修生への事前指導をお願いします。

陸上活動	・サイクリング（保険加入必須） ・ウォークラリー ・ナイトウォーク ・ハイキング ・キャンプファイヤー ・キャンドルセレモニー ・昆虫カード集め ・マレットゴルフ ・まるたアクティブ ・ピザ作り ・バーベキュー
水辺活動	・かに釣り ・魚釣り ・湖岸観察 ・いかだ遊び ・ローボート ・ういてまて ・囲い網

〔活動当日までの流れ〕

入所 40 日前までの準備



事前打合せ後の準備



入所後の打合せ (入所時 or 活動前夜)



活動前の打合せ (実施直前)

- ①実施目的やねらいを明確にする。
- ②活動時間、学年や年齢、身体的条件等を考慮してプログラムを設定する。
- ③所員と事前打合せを実施する。(利用日の 40 日前まで)

- ①プログラム実施に応じた団体指導者の配置や役割分担を決める。
- ②入所日の 3 週間前までに、[団体の指導者の役割分担表]、
[活動者名簿 (ウォークラリー・ナイトウォークのみ)] を提出する。
- ③事故や怪我等に備えた連絡体制及び連絡網を確認する。
- ④研修生への事前指導及び事前学習を行う。
- ⑤活動エリア及びコースの下見を行う。(必須)

- ①研修生の出欠及び体調を確認する。
- ②団体指導者の配置、役割分担を確認する。

- ①担当所員が作成した活動事前チェックシートを基に、気象や活動についての打合せを行う。
- ②研修生の出欠や健康状態を把握する。

【お願い】

- ・事前に必ず活動エリア及びコースの下見（事前打合せ同日実施可）を行ってください。
- ・プログラムの詳細はプログラムガイド（青年の家ホームページよりダウンロード可）をご参照ください。
- ・事前打合せの際は、『青少年教育施設を利用する団体指導者のための利用者ガイド』をご活用ください。
- ・入所前に各団体にて保険の加入状況等の確認をしてください。

天候による活動中止基準（浜松市南部に発表）

- ① 警報：すべての活動は中止
- ② 注意報：右表を参照
- ③ 以下のような気象変化が予想される
 - ・急激な風速上昇、突風の発生
 - ・雷雲の発生
 - ・雨量の急激な増加
- ④ 竜巻発生注意報が発表されている
- ⑤ 光化学オキシダント注意報が発表されている
- ⑥ 南海トラフ地震臨時情報、津波（注意報以上）に関する情報が発表されている
- ⑦ 観天望気による天候の急変が予想される

		陸上活動	水辺活動	屋外活動
大雨注意報	降雨（20mm/h 以上）	中止		
	降雨（20mm/h 以下）	短縮・変更・中止		
	降雨が確認されない	気象に注意し実施・短縮		
強風注意報	平均風速 10m/s 以上	短縮・変更・中止		
雷注意報	活動度 2、雷鳴が確認	中止		
	活動度 1 以下	気象に注意し実施・短縮・変更・中止		
濃霧注意報	100m 先が視認できない	中止		
	100m 先が視認できる	気象に注意し実施		
高潮注意報	活動場所が水没	—	中止	—
	活動場所が水没の恐れ	—	短縮	—
気温	35 度以上	中止 (WBGT 31 度以上も中止)		
	10 度以下	気象に注意し実施・短縮・変更・中止		

（例示）

【危険が近い】

- ・付近の山（天竜から引佐、三ヶ日方面）に明るいグレーの入道雲が発生する。
- ・梅雨時に東風が吹く。

【危険度が高い】

- ・真黒な雲が近づき周囲が暗くなる。
- ・ヒヤッとした冷たい風が吹き出す。

【気象情報について】

事務室前の総合案内横の掲示板に、最新の気象情報及び発表中の警報、注意報を掲示しています。また、活動前の打合せにて気象情報の確認をします。活動中も気象確認を所員が行い、天候の変化に対応します。 ※常に団体指導者のみなさんも情報収集を実施してください。

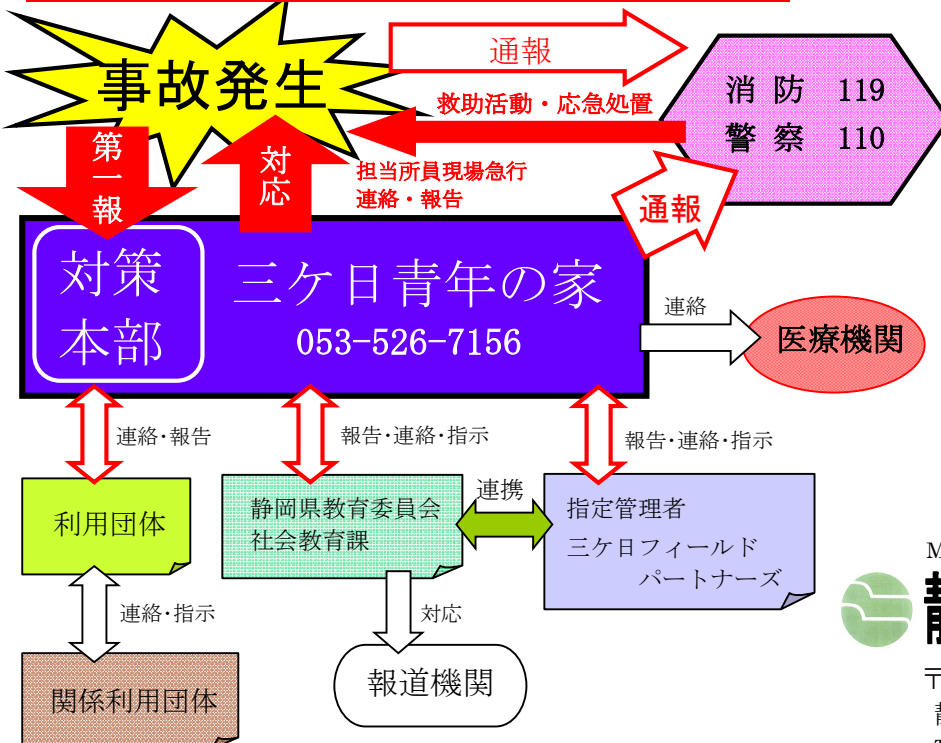
困ったときは・・・

交通事故・・・直ちに警察（110 番）、消防（119 番）へ通報し、状況を事務室へ報告する。
 怪我/体調不良・・・事務室へ報告後、活動継続不可の場合、医務室へ搬送する。必要に応じて病院へ搬送、または消防（119 番）へ報告する。
 迷子・・・事務室へ報告後、所員と捜索。状況に応じて警察（110 番）へ報告する。
 落雷・・・研修生を集め、建物内へ避難する。（青年の家、避難場所）点呼後、事務室へ報告する。雷雲が去るまで活動は中断する。
 地震・・・倒壊物や落下物から身を守る。研修生を集め、青年の家または避難場所へ移動する。点呼後、所員へ報告する。

緊急時対応図

緊急時も落ち着いて連絡・行動をする！


「研修生の安全確保と人員確認を最優先！！」



緊急時連絡先

聖隷三方原病院 （総合・24 時間）	053-436-1251
三ヶ日中央外科 （内・外・小・整）	053-524-1481
市立湖西病院 （総合）	053-576-1231
クロヤナギ医院 （内・整）	053-524-1000
縣医院 （内・小）	053-526-0120
みかえ内科 クリニック	053-526-0500
遠鉄タクシー	053-412-7777

MIKKABI YOUTH CENTER SHIZUOKA.Pref

 静岡県立三ヶ日青年の家

〒431-1402

静岡県浜松市浜名区三ヶ日町都筑 523-1

TEL (053) 526-7156 FAX (053) 526-0665